



## 2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ  
コード番号 3032 URL <https://www.golfdco.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二  
定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,184	4.5	99	247.3	90	141.9	67	283.9
2025年3月期	5,917	2.5	28		37		17	

(注) 包括利益 2026年3月期 87百万円 (292.6%) 2025年3月期 22百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	13.61	12.83	8.4	2.3	1.6
2025年3月期	3.50	3.40	2.3	1.0	0.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出してあります。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	3,882	878	21.3	169.82
2025年3月期	3,837	822	20.4	155.97

(参考) 自己資本 2026年3月期 825百万円 2025年3月期 781百万円

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり純資産については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出してあります。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	110	214	108	687
2025年3月期	55	209	374	891

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		5.00	5.00	12	71.4	1.5
2026年3月期		0.00		3.00	3.00	14	21.7	1.7
2027年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00		20.8	

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の配当金については、分割前の実際の配当金の金額を記載しております。なお、株式分割後の基準で換算した2025年3月期の1株当たり年間配当金は2円50銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日 ~ 2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	13.2	125	26.2	100	10.7	70	3.9	14.39

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	5,211,284 株	2025年3月期	5,211,284 株
期末自己株式数	2026年3月期	348,400 株	2025年3月期	198,400 株
期中平均株式数	2026年3月期	4,950,829 株	2025年3月期	5,012,884 株

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため発行済株式数 (普通株式) については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,248	3.8	53		58	71.6	38	15.8
2025年3月期	5,057	5.6	4		33		45	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	7.74	7.38
2025年3月期	9.08	8.82

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	3,667	733	18.6	139.94
2025年3月期	3,584	726	19.1	136.71

(参考) 自己資本 2026年3月期 680百万円 2025年3月期 685百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報の注記) .....	16
(重要な後発事象の注記) .....	17
4. 補足情報 .....	18
売上高前年対比等 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価上昇が進むものの、企業の好業績に伴って株価上昇、賃金上昇が進み、緩やかに回復への軌道を描いておりましたが、緊迫する中東情勢により不透明感が急速に強まっております。海外においては、AIや半導体への投資が米国を中心に世界経済を牽引する一方で、複数の国・地域における紛争は止まず、世界的な気候変動による経済への影響も年々強まっており、追い打ちをかけるように中東情勢が悪化したことで、世界的にスタグフレーションへの懸念が強まっているものと推測されます。

リユース市場においては、中古品への抵抗感の減少に加えて、物価高による節約需要、円安効果によるインバウンド需要等もあり、中古品の需要は増加しているものと推測されます。また、買取りにおいてもWEB広告は当然のごとく、新聞折り込み広告も目にしない日は無く、スーパーマーケット等での仮設店舗による買取（出張買取）も盛んに行われており、企業規模やジャンルに関わらず買取競争が激化しております。さらに、メーカーによる自社製品の回収～再生～リセールも増加傾向にあり、古物商許可件数も増加していることから、市場は拡大の一途を辿っているものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、「2025年問題」として懸念されたゴルフの主要顧客層である団塊世代の急激な減少は無かったと推測されますが、原材料費等の高騰による商品価格の上昇が続いており、コア層以外のゴルフ離れが懸念されます。一方で価格面において優位性がある中古クラブへの需要は底堅いものと推測されます。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2026年1月～3月の新品クラブ及びボール等用品類のカテゴリ合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、それぞれ1月100.7%・109.0%、2月101.5%・91.9%、3月100.7%・95.8%で、2025年度（2025年4月～2026年3月）の前年比は、97.5%・97.1%となっております。9月と1月が販売数量ベース、金額ベース共に前年同月を上回りました。

ゴルフ場及び練習場においては、総務省統計局 サービス産業動態統計調査「参考表 事業活動の産業（細分類）別売上（収入）金額」（<https://www.stat.go.jp/data/mbss/index.html>）を基に算出した2026年1月、2月のゴルフ場・練習場の売上前年同月比は、それぞれ1月94.5%・93.6%、2月108.2%・101.1%\*となり、2025年度（2025年4月～2026年2月）は、100.3%・97.9%\*となっております。

\*2025年12月以降の数値は速報からの算出で、3月分は公表前のため記載しておりません。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、1年を通して「ゴルフドゥ！オンラインショップ」が牽引したことで「ゴルフドゥ！」店舗の業績が安定し、当社グループの業績も1年間を通して安定して推移いたしました。「ゴルフドゥ！オンラインショップ」には、今後も積極的かつ優先的に投資を続けてまいります。6月に新規事業としてスタートした無人インドアゴルフ練習場「DODO GOLF」については、当連結会計年度末現在の店舗数は4店舗で、一刻も早い収益化に向けて付加価値の向上を進めるとともに、会員数増加に注力しております。また、収益構造改革の一環として企業戦略と連動した人材戦略を進めており、「ゴルフドゥ！」直営店においては、人材育成強化の成果が業績にも表れてきております。費用面においては、前連結会計年度と比較して大きく上回っているものとして、人手不足（社員）に対するパートタイマーの採用増加による雑給、クレジットカード及びECモールに関する手数料増加による支払手数料、新規事業「DODO GOLF」の設備等に関する減価償却費、株主優待の拡充に伴う株主優待引当金繰入額があげられます。

なお、2025年5月13日に公表した新中期経営計画「Breakthrough 2028」の進捗は、1年目の目標である連結売上高62億円、連結経常利益0.4億円は達成することができましたが、国内店舗数90店舗及び株式時価総額25億円は達成することができませんでした。また、重点施策である①ゴルフドゥ！店舗網の更なる拡大、②オムニチャネル戦略の推進、③ゴルフ関連商品取り扱いの拡大、④インドアゴルフ練習場の驚異的な成長については、②オムニチャネル戦略の推進を除いて当初の想定より進捗が遅れておりますが、初年度は助走期間として設定していたこともあり、残りの2年間で大きな飛躍を遂げるべくスピードアップを図ってまいります。

直営事業においては、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の好調が続く、「ゴルフドゥ！」直営店の店頭売上高も各月で前年同月並みに推移したことから、1月～3月の店舗売上高は各月で過去最高となり、当連結会計年度における各月の店舗売上高は6月を除く11か月間で過去最高となりました。アイテムでは、買取りが点数、金額共に前連結会計年度を上回ったことから、中古品（クラブ、シャフト）が牽引いたしました。なお、当連結会計年度の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まない。）は、全店ベースで4.1%増、既存店ベースで4.0%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店の店頭売上高が前年同月を下回った時でも「ゴルフドゥ！オンラインショップ」が補ったことで、ロイヤリティ収入は堅調に推移いたしました。また、2026年1月より「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店も直営店と同様に「メルカリShops」への出品をスタートしており、販路の拡充を図っております。なお、当連結会計年度の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む。）は、全店ベースで0.3%増、既存店ベースで2.1%増となりました。

当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」のオープンは、4月に移転でゴルフドゥ！NEXT昭島武蔵野店/直営、5月に新規でゴルフドゥ！河口湖インター店/FCで、2026年3月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ45店舗（当社子会社の運営店舗を含む。）の合計69店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース2.2%増、既存店ベース3.0%増となりました。

営業販売事業においては、事業体制の見直しを兼ねて7月に国内ECモールに出店する「GOLF J-WING GS」、8月に国内卸販売（一部を除く）をそれぞれ休止いたしました。米国子会社は、為替の影響を受けて日本への輸出が限定的になるものの、米国内への卸販売や好調なEC系販売が補っております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は売上高61億84百万円（前連結会計年度売上高は59億17百万円）、営業利益99百万円（前連結会計年度営業利益は28百万円）、経常利益90百万円（前連結会計年度経常利益は37百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益67百万円（前連結会計年度親会社株主に帰属する当期純利益は17百万円）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当連結会計年度における直営事業の売上高は47億84百万円（前連結会計年度売上高は46億24百万円）、セグメント利益は4億39百万円（前連結会計年度セグメント利益は3億38百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当連結会計年度におけるフランチャイズ事業の売上高は5億39百万円（前連結会計年度売上高は4億44百万円）、セグメント利益は1億1百万円（前連結会計年度セグメント利益は69百万円）となりました。

（営業販売事業）

当連結会計年度における営業販売事業の売上高は9億62百万円（前連結会計年度売上高は9億83百万円）、セグメント利益は13百万円（前連結会計年度セグメント損失は16百万円）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は29億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2億4百万円減少、商品が1億74百万円増加したことによるものであります。固定資産は9億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が87百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、38億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は22億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円増加いたしました。これは主に短期借入金2億円、賞与引当金が24百万円、株主優待引当金が30百万円増加したことによるものであります。固定負債は7億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円減少いたしました。これは主に長期借入金2億66百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、30億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は8億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が54百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は21.3%（前連結会計年度末は20.4%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入、投資活動による支出及び財務活動による支出の結果、6億87百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費、棚卸資産の増加額等により、1億10百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出等により、2億14百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増減額による収入、長期借入金の返済による支出、自己株式取得による支出等により、1億8百万円の支出となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
自己資本比率 (%)	22.7	24.7	22.9	20.4	21.3
時価ベースの 自己資本比率 (%)	28.3	29.9	27.5	24.2	35.1
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年) *	—	6.6	37.4	33.5	16.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) *	—	17.0	3.6	3.6	4.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

\* 2022年3月期は、有利子負債はありますがキャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しについては、経済は回復基調が続くものの、中東情勢如何によっては物価上昇の進行やインバウンド需要の減少が想定され、回復への歩みはペースダウンを余儀なくされる可能性があるものと推測されます。

リユース市場においては、物価上昇が一段と進むことで、価格優位性がある中古品へのニーズはより一層高まり、それに伴って市場規模の拡大が続くものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、中東情勢の悪化が進むことにより、塗料、接着剤、グリップ等の石油製品の高騰に加えて、調達のコスト増が次第に増してくることが推測され、商品供給の先細りが懸念されます。また、地球温暖化によるベストシーズンの減少やゴルフ場の芝への影響等、環境面の悪化が憂慮されます。

当社グループにおいては、新中期経営計画「Breakthrough 2028」が当初から2年目、3年目に大きな飛躍を遂げることを描いていることから、スピードアップに努めてまいります。また、成長の原動力となっている「ゴルフドゥ！オンラインショップ」は今後も更なる成長を見据え、無人インドアゴルフ練習場「DODO GOLF」は新たな収益の柱への成長に向けて、共に積極的な投資を続けてまいります。加えて、収益構造改革の一環である人材戦略については、最重要事項として「ゴルフドゥ！」直営店を中心に注力を継続してまいります。なお、中東情勢により、ゴルフ用品市場において新品クラブの供給に支障が表れた場合、中古クラブへの需要の高まりが想定されますが、その後には買取り不足が懸念されます。

以上の結果、翌連結会計年度（2027年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高7,000百万円（前期比13.2%増）、営業利益125百万円（同26.2%増）、経常利益100百万円（同10.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益70百万円（同3.9%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	891,717	687,111
売掛金	346,039	352,649
商品	1,654,364	1,828,717
短期貸付金	—	1,200
未収還付法人税等	375	367
その他	82,396	63,117
貸倒引当金	△266	△5,252
流動資産合計	2,974,627	2,927,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	540,549	630,626
減価償却累計額及び減損損失累計額	△312,923	△342,830
建物及び構築物 (純額)	227,625	287,796
工具、器具及び備品	360,834	408,115
減価償却累計額及び減損損失累計額	△331,726	△352,312
工具、器具及び備品 (純額)	29,108	55,803
建設仮勘定	29,447	29,882
有形固定資産合計	286,180	373,482
無形固定資産		
ソフトウェア	290,320	257,210
ソフトウェア仮勘定	20,818	17,805
のれん	3,130	—
その他	2,226	2,325
無形固定資産合計	316,496	277,341
投資その他の資産		
投資有価証券	49,766	64,704
長期貸付金	36,083	34,483
敷金及び保証金	164,369	180,748
繰延税金資産	27,658	46,665
その他	20,647	13,380
貸倒引当金	△38,251	△36,701
投資その他の資産合計	260,274	303,281
固定資産合計	862,952	954,104
資産合計	3,837,579	3,882,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	429,950	419,861
短期借入金	900,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	266,640	266,660
未払法人税等	36,080	38,808
賞与引当金	28,135	53,020
ポイント引当金	25,256	18,507
株主優待引当金	19,578	50,558
その他	287,313	316,022
流動負債合計	1,992,954	2,263,439
固定負債		
長期借入金	708,453	441,793
退職給付に係る負債	181,373	170,652
資産除去債務	80,570	89,412
その他	51,329	37,872
固定負債合計	1,021,726	739,730
負債合計	3,014,680	3,003,169
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	81,672	136,498
自己株式	△98,208	△128,808
株主資本合計	668,544	692,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,496	34,037
為替換算調整勘定	88,820	99,016
その他の包括利益累計額合計	113,316	133,053
新株予約権	41,038	53,021
純資産合計	822,899	878,844
負債純資産合計	3,837,579	3,882,014

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,917,036	6,184,822
売上原価	3,665,008	3,798,278
売上総利益	2,252,027	2,386,543
販売費及び一般管理費	2,223,502	2,287,479
営業利益	28,524	99,064
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,118	3,999
受取手数料	5,329	4,517
為替差益	—	588
助成金収入	10,163	—
その他	4,094	8,001
営業外収益合計	24,705	17,105
営業外費用		
支払利息	15,380	22,483
為替差損	92	—
その他	425	3,376
営業外費用合計	15,898	25,860
経常利益	37,330	90,310
特別利益		
移転補償金	60,597	—
特別利益合計	60,597	—
特別損失		
固定資産除却損	0	2,514
減損損失	28,282	—
店舗閉鎖損失	4,035	—
その他	3,067	—
特別損失合計	35,386	2,514
税金等調整前当期純利益	62,542	87,795
法人税、住民税及び事業税	29,155	44,401
法人税等調整額	15,841	△23,963
法人税等合計	44,996	20,437
当期純利益	17,545	67,357
親会社株主に帰属する当期純利益	17,545	67,357

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	17,545	67,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,019	9,540
為替換算調整勘定	△1,380	10,195
その他の包括利益合計	4,638	19,736
包括利益	22,184	87,094
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	22,184	87,094
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	515,838	169,240	76,659	△98,208	663,530
当期変動額					
剰余金の配当			△12,532		△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益			17,545		17,545
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	5,013	—	5,013
当期末残高	515,838	169,240	81,672	△98,208	668,544

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,476	90,201	108,678	29,461	801,670
当期変動額					
剰余金の配当					△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益					17,545
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6,019	△1,380	4,638	11,577	16,215
当期変動額合計	6,019	△1,380	4,638	11,577	21,229
当期末残高	24,496	88,820	113,316	41,038	822,899

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	515,838	169,240	81,672	△98,208	668,544
当期変動額					
剰余金の配当			△12,532		△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益			67,357		67,357
自己株式の取得				△30,600	△30,600
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	54,825	△30,600	24,225
当期末残高	515,838	169,240	136,498	△128,808	692,769

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	24,496	88,820	113,316	41,038	822,899
当期変動額					
剰余金の配当					△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益					67,357
自己株式の取得					△30,600
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	9,540	10,195	19,736	11,982	31,718
当期変動額合計	9,540	10,195	19,736	11,982	55,944
当期末残高	34,037	99,016	133,053	53,021	878,844

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	62,542	87,795
減価償却費	117,328	139,248
のれん償却額	5,632	3,130
長期前払費用償却額	1,651	1,451
株式報酬費用	11,569	10,615
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,847	3,436
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,541	24,686
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△8,893	△6,749
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	4,221	30,980
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,467	△10,720
受取利息及び受取配当金	△5,118	△3,999
支払利息	15,380	22,483
移転補償金	△60,597	—
減損損失	28,282	—
固定資産除却損	0	2,514
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,823	△964
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△136,576	△167,989
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,352	△18,819
未払金の増減額 (△は減少)	△4,618	571
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,493	5,925
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,524	25,779
その他	31,790	14,072
小計	13,561	163,448
利息及び配当金の受取額	5,118	3,999
利息の支払額	△16,326	△22,762
移転補償金の受取額	48,477	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	5,110	△34,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,941	110,239
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△49,970	△166,406
無形固定資産の取得による支出	△171,459	△46,579
貸付金の回収による収入	1,800	400
敷金及び保証金の回収による収入	7,596	12,479
敷金及び保証金の差入による支出	△2,164	△18,859
建設協力金の回収による収入	4,755	4,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,442	△214,115
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	230,000	200,000
長期借入れによる収入	640,000	—
長期借入金の返済による支出	△482,567	△266,640
自己株式の取得による支出	—	△30,600
配当金の支払額	△12,520	△12,567
その他	3	1,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	374,916	△108,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△787	7,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	220,627	△204,606
現金及び現金同等物の期首残高	671,090	891,717
現金及び現金同等物の期末残高	891,717	687,111

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営事業」、「フランチャイズ事業」及び「営業販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、ゴルフクラブの小売り及び買取りを中心とするゴルフリユースショップ「ゴルフドゥ！」の直営店舗運営並びにECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」及び「ゴルフウェアユーズド」並びにECモールに出店する「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops ゴルフドゥ！」の運営、「フランチャイズ事業」は、「ゴルフドゥ！」のフランチャイズチェーン本部の運営及び新規フランチャイズ加盟店の開拓、「営業販売事業」は、ゴルフ用品の卸販売及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」の運営を行っていましたが、事業体制の見直しを兼ねて2025年7月に「GOLF J-WINGS」、同8月に国内卸販売（一部を除く）をそれぞれ休止しております。

なお、前連結会計年度において「アパレル事業」の「シューラール」のフランチャイズ契約を終了したことにより、「アパレル事業」を報告セグメントから除外しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,624,787	428,780	816,792	46,675	5,917,036	—	5,917,036
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16,168	166,477	—	182,646	△182,646	—
計	4,624,787	444,948	983,270	46,675	6,099,682	△182,646	5,917,036
セグメント利益又は 損失 (△)	338,497	69,892	△16,305	△2,394	389,690	△361,165	28,524
セグメント資産	2,112,367	313,796	312,316	8,528	2,747,008	1,090,571	3,837,579
その他の項目							
減価償却費	66,994	27,874	16,266	89	111,225	6,103	117,328
のれんの償却額	5,632	—	—	—	5,632	—	5,632
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	93,142	157,558	152	—	250,854	108	250,963

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
  - (3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,784,696	522,967	868,273	6,175,937	8,885	6,184,822	—	6,184,822
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16,411	94,725	111,137	—	111,137	△111,137	—
計	4,784,696	539,378	962,999	6,287,074	8,885	6,295,959	△111,137	6,184,822
セグメント利益又は 損失 (△)	439,930	101,966	13,683	555,580	△45,488	510,091	△411,027	99,064
セグメント資産	2,280,262	305,859	316,161	2,902,284	71,581	2,973,865	908,148	3,882,014
その他の項目								
減価償却費	75,489	44,442	403	120,334	13,738	134,072	5,176	139,248
のれんの償却額	3,130	—	—	3,130	—	3,130	—	3,130
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	71,283	38,937	1,721	111,942	79,429	191,371	4,931	196,303

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無人インドアゴルフ練習場事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
  - (3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	合計
5,394,904	789,918	6,184,822

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
減損損失	—	—	28,282	—	28,282

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	5,632	—	—	—	5,632
当期末残高	3,130	—	—	—	3,130

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
当期償却額	3,130	—	—	3,130
当期末残高	—	—	—	—

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	155.97円	169.82円
1株当たり当期純利益	3.50円	13.61円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.40円	12.83円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	17,545	67,357
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	17,545	67,357
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,012,884	4,950,829
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	143,296	238,866
(うち新株予約権 (株))	(143,296)	(238,866)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2024年5月20日開催の取締役会決議による第12回新株予約権新株予約権の数 2,240個 (普通株式 224,000株) 2024年8月26日開催の取締役会決議による第13回新株予約権新株予約権の数 2,200個 (普通株式 220,000株)	2025年8月29日開催の取締役会決議による第15回新株予約権新株予約権の数 2,440個 (普通株式 244,000株)

(注) 2. 当社は、2025年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(重要な後発事象の注記)

(共通支配下の取引等)

当社は、2026年3月30日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるスクエアツウ・ジャパン株式会社の事業の一部（ゴルフドゥ！山口防府店）を当社へ譲渡することを決議し、2026年4月1日付で譲受け、「ゴルフドゥ！」直営店に転換いたしました。

1. 取引の概要

(1) 対象となる事業の内容

当社の連結子会社であるスクエアツウ・ジャパン株式会社が運営する「ゴルフドゥ！山口防府店」

(2) 事業譲渡日

2026年4月1日

(3) 事業譲渡の法的形式

スクエアツウ・ジャパン株式会社を事業譲渡会社、当社を事業譲受会社とする金銭を対価とした譲受

(4) 事業譲渡後の企業の名称

変更なし

(5) その他取引の概要に関する事項

ゴルフドゥ！山口防府店は2001年にフランチャイズ店としてオープンし、一度の移転を挟んで2015年に当社の連結子会社であるスクエアツウ・ジャパン株式会社が営業権を取得して運営しておりましたが、現在、スクエアツウ・ジャパン株式会社は事業の見直しを図っており、本譲受けにより直営店に転換し、地域に根差した良さを残しつつ、直営店との一体的な運営体制に移行することが最善と判断いたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。

## 4. 補足情報

## 売上高前年対比等

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2026年1月	2026年2月	2026年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
ゴルフドゥ！全店	103.1%	101.6%	102.8%	102.5%	102.2%
ゴルフドゥ！既存店	103.4%	103.1%	102.0%	102.8%	103.0%
同 直営店 全店	104.9%	105.9%	105.7%	105.5%	104.1%
同 直営店 既存店	104.9%	105.9%	103.0%	104.5%	104.0%
同 F C店 全店	101.4%	97.5%	99.9%	99.7%	100.3%
同 F C店 既存店	101.8%	100.2%	101.0%	101.1%	102.1%

(注) F C店には当社子会社の運営店舗が含まれております。

当第4四半期及び当連結会計年度におけるE C系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数(合計)、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2026年1月	2026年2月	2026年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
売上高前年対比	116.1%	116.4%	101.1%	110.4%	114.0%
セッション数前年対比	111.2%	105.7%	113.2%	110.1%	102.1%
会員数(合計)					490千人
会員数前年増加率					7.4%

- (注) 1. 売上高前年対比及びセッション数前年対比は、E C系(「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops」)合計の対比です。
2. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員は含まれておりません。